

平成16年3月期 第1四半期業績の概況(連結)

平成15年7月30日

上場会社名 エーザイ株式会社

(コード番号: 4523 東証・大証 第1部)

(URL <http://www.eisai.co.jp>)

代表者 代表取締役社長 内藤 晴夫

問合せ先責任者 執行役員 広報・総務担当 三井 博行

(TEL: 03-3817-5085)

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項
 会計処理の方法の最近連結会計年度における : 無
 認識の方法との相違の有無
 連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 : 無

2. 平成16年3月期第1四半期の業績概況(平成15年4月1日~平成15年6月30日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況 (百万円未満は切り捨てて表示しております。)

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
16年3月期第1四半期	116,649	1.3	19,078	0.3	19,571	6.7
15年3月期第1四半期	115,187	-	19,022	-	18,348	-
15年3月期	466,613		75,863		76,137	

	四半期(当期)純利益		1株当たり 四半期(当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期(当期)純利益
	百万円	%	円 銭	円 銭
16年3月期第1四半期	12,335	10.3	42.28	42.28
15年3月期第1四半期	11,180	-	38.33	37.93
15年3月期	41,027		141.16	139.85

- (注)1. 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しています。
 2. 四半期業績の開示については、当第1四半期より実施しており、平成15年3月期第1四半期業績は参考値であります。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり 株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
16年3月期第1四半期	593,955	397,223	66.9	1,361.34
15年3月期第1四半期	549,461	365,698	66.6	1,253.70
15年3月期	591,721	388,247	65.6	1,330.34

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
16年3月期第1四半期	16,949	3,764	4,507	136,400
15年3月期第1四半期	12,127	7,906	5,364	115,847
15年3月期	57,606	27,721	19,829	127,271

(参考1) 四半期個別経営成績等の概況(平成15年4月1日~平成15年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
16年3月期第1四半期	76,463	19,119	19,590	12,267

	総資産	株主資本
	百万円	百万円
16年3月期第1四半期	490,026	385,844

[当四半期業績の概要]

連結売上高は、1,166億49百万円（前年同期比1.3%増）となりました。

所在地別売上高は、北米が8.0%増、欧州は22.6%増となりました。日本は本年2月に動物薬事業を営業譲渡したこともあり4.6%減となりました。アジア他は6.7%減となりました。

製品別には、アルツハイマー型痴呆治療剤「アリセプト」が324億72百万円（前年同期比28.0%増）、抗潰瘍剤「パリエット」（米国名「アシフェックス」）は262億60百万円（前年同期比4.7%減）となりました。米国「アシフェックス」は、前年第4四半期の価格改定前需要増の影響により微増（現地通貨ベース）にとどまり、邦貨換算では減少しました。

研究開発費は168億96百万円（前年同期比25.0%増）、販売費・一般管理費は577億13百万円（前年同期比5.6%増）となりました。売上原価は228億43百万円（前年同期より50億40百万円減）で、売上原価率は19.6%（前年同期より4.6%改善）となりました。

以上のことから営業利益は190億78百万円（前年同期比0.3%増）、経常利益は195億71百万円（前年同期比6.7%増）、四半期純利益は123億35百万円（前年同期比10.3%増）を確保しました。

1株当たり四半期純利益は42円28銭（前年同期より3円95銭増）となりました。

為替の期中平均レートは、118.50円/米ドル、134.66円/ユーロでした。

（平成15年3月期第1四半期：127.04円/米ドル、116.57円/ユーロ）

[セグメントの状況]

（各セグメントの売上高は外部顧客に対するものです）

事業の種類別セグメント

医薬品分野 「アリセプト」は日本、北米、欧州において伸長し、「パリエット/アシフェックス」は、北米では微増（現地通貨ベース）、日本と欧州では伸長しました。この結果、売上高は1,112億23百万円（前年同期比2.9%増）となりました。営業利益は臨床研究の進展や神経領域におけるライセンス費用などの増加があり、193億81百万円（前年同期比0.6%増）となりました。

その他の分野 売上高は、54億25百万円（前年同期比23.4%減）、営業利益は3億68百万円（前年同期比21.9%減）となりました。

所在地別セグメント

日 本 売上高は637億13百万円（前年同期比4.6%減）、営業利益は201億円（前年同期比4.1%減）となりました。

「アリセプト」の売上高は69億71百万円（前年同期比30.2%増）、「パリエット」は17億36百万円（前年同期比9.6%増）と伸長しましたが、他の医療用医薬品、一般用医薬品の低迷、動物薬事業の営業譲渡などにより減収となりました。

北 米 売上高は 422 億 58 百万円（前年同期比 8.0%増）、営業利益は 12 億 94 百万円（前年同期比 157.5%増）となりました。

「アリセプト」は 191 億 40 百万円（前年同期比 29.5%増）、「アシフェックス」は 226 億 6 百万円（前年同期比 6.3%減）となりました。

欧 州 売上高は 85 億 5 百万円（前年同期比 22.6%増）、営業利益は 5 億 47 百万円（前年同期比 2.7%減）となりました。

「アリセプト」は 57 億 67 百万円（前年同期比 26.4%増）、「パリエット」は 15 億 81 百万円（前年同期比 3.2%増）とそれぞれ伸長しました。

ア ジ ア 他 売上高は 21 億 72 百万円（前年同期比 6.7%減）、営業利益は 4 億 51 百万円（前年同期比 27.8%減）となりました。

なお、海外での所在地別売上高の合計は、529 億 35 百万円（前年同期比 9.4%増）であり、売上高比率は 45.4%となりました。

[キャッシュ・フローの状況]

営業活動から得たキャッシュ・フローは、169 億 49 百万円（前年同期より 48 億 22 百万円増）となりました。税金等調整前四半期純利益は前年同期に比べ 12 億 37 百万円増加し、194 億 1 百万円となり、減価償却費は前年同期並みの 42 億 92 百万円、売上債権の減少額は 137 億 36 百万円となりました。また、法人税等の支払額は 216 億 29 百万円であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、37 億 64 百万円（前年同期より 41 億 42 百万円減）の支出となりました。そのうち、有形固定資産の取得により 47 億 5 百万円を支出しました。また、財務活動においては、配当金の支払い等により 45 億 7 百万円（前年同期より 8 億 56 百万円減）を支出しております。

以上の結果、当四半期末における現金及び現金同等物は、1,364 億円（前期末より 91 億 28 百万円増）となりました。

[開発品の状況]

日本では、5月に血栓溶解剤「クリアクター」で急性肺塞栓症の適応追加を申請し、7月には「パリエット錠 10mg」の逆流性食道炎維持療法の承認を取得いたしました。また、「パリエット」のH.ピロリ除菌療法のフェーズ 試験を開始しました。

米国では、テバ社（本社：イスラエル）と同社が現在FDA（米国食品医薬品局）に新薬承認の申請を予定しているパーキンソン病治療薬「ラサジリン」の販売促進と開発に関する戦略的提携を行いました。これにより当社は、今後米国でパーキンソン病領域でのコ・プロモーションを実施するとともに、同剤のアルツハイマー型痴呆に関する共同開発に取り組みます。なお、米国で申請していた今回の「アリセプト」における脳血管性痴呆の適応追加は、7月にFDAより非承認の通知を受け、今後の対応につきFDAと協議中です。

3. 平成16年3月期の連結業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり 予想当期純利益	
				百万円	円 銭
中間期	243,000	40,500	24,000	82.25	
通期	500,000	80,000	48,000	164.27	

本年5月に発表した業績予想から、中間期、通期ともに変更はありません。国内外において市場競合の高まりなど、引き続き厳しい環境であります。日本での「パリエット」の逆流性食道炎維持療法の承認取得による売上拡大、米国での販売力強化などに加え、経営資源効率化の推進に努めてまいります。

（参考2）平成16年3月期の個別業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり年間予想配当金		
				中間	期末	
	百万円	百万円	百万円	円 銭	円 銭	円 銭
中間期	148,000	35,500	21,000	18.00		
通期	296,000	63,000	38,000		18.00	36.00

注：当資料に記載している予想数値は、当社が現在入手可能な情報から判断したものであり、経済情勢、為替、薬事制度などの動向により、変動する場合があります。ご了承ください。

(添付資料)

1 - 1) 連結貸借対照表(資産の部)

区 分	前連結会計年度 (平成15年3月31日)		当第1四半期 (平成15年6月30日)		増 減	
	金 額 (百万円)	構成比 (%)	金 額 (百万円)	構成比 (%)	金 額 (百万円)	
(資産の部)						
流動資産						
1 現金及び預金		101,263		114,010		
2 受取手形及び売掛金		149,049		135,330		
3 有価証券		35,335		27,696		
4 たな卸資産		35,061		36,309		
5 繰延税金資産		19,285		21,991		
6 その他		9,187		10,878		
貸倒引当金		201		231		
流動資産合計		348,981	59.0	345,984	58.3	2,997
固定資産						
1 有形固定資産						
(1) 建物及び構築物	129,597		129,714			
減価償却累計額	72,441	57,155	73,064	56,649		
(2) 機械装置及び運搬具	88,210		87,476			
減価償却累計額	65,724	22,486	65,682	21,794		
(3) 土地		19,097		19,056		
(4) 建設仮勘定		4,464		6,858		
(5) その他	36,139		36,374			
減価償却累計額	27,658	8,480	28,140	8,233		
有形固定資産合計		111,685	18.9	112,592	18.9	907
2 無形固定資産		16,035	2.7	15,838	2.7	196
3 投資その他の資産						
(1) 投資有価証券		66,994		70,586		
(2) 長期貸付金		98		99		
(3) 繰延税金資産		18,778		20,072		
(4) その他		30,077		29,709		
貸倒引当金		929		928		
投資その他の資産合計		115,019	19.4	119,539	20.1	4,520
固定資産合計		242,739	41.0	247,970	41.7	5,230
資産合計		591,721	100.0	593,955	100.0	2,233

1 - 2) 連結貸借対照表 (負債、少数株主持分及び資本の部)

区 分	前連結会計年度 (平成 15 年 3 月 31 日)		当第 1 四半期 (平成 15 年 6 月 30 日)		増 減
	金 額 (百万円)	構成比 (%)	金 額 (百万円)	構成比 (%)	金 額 (百万円)
(負債の部)					
流動負債					
1 支払手形及び買掛金	16,134		14,912		
2 短期借入金	35		226		
3 一年以内償還予定社債	100		100		
4 未払金	41,145		39,716		
5 未払費用	22,595		26,504		
6 未払法人税等	23,026		12,910		
7 売上割戻引当金	37,574		34,650		
8 その他の引当金	796		978		
9 その他	4,584		5,472		
流動負債合計	145,992	24.7	135,472	22.8	10,519
固定負債					
1 繰延税金負債	344		485		
2 退職給付引当金	45,417		49,049		
3 役員退職慰労引当金	1,764		1,762		
4 連結調整勘定	178		163		
5 その他	443		432		
固定負債合計	48,148	8.1	51,892	8.7	3,744
負債合計	194,140	32.8	187,365	31.5	6,775
(少数株主持分)					
少数株主持分	9,332	1.6	9,366	1.6	33
(資本の部)					
資本金	44,985	7.6	44,985	7.6	-
資本剰余金	55,222	9.3	55,222	9.3	-
利益剰余金	302,669	51.2	310,269	52.2	7,600
その他有価証券評価差額金	1,424	0.2	2,295	0.4	871
為替換算調整勘定	1,502	0.2	993	0.2	509
自己株式	14,551	2.5	14,556	2.4	4
資本合計	388,247	65.6	397,223	66.9	8,975
負債、少数株主持分 及び資本合計	591,721	100.0	593,955	100.0	2,233

2 . 連結損益計算書

第1四半期（平成15年4月1日～平成15年6月30日）

区 分	前第1四半期 (自平成14年4月1日 至平成14年6月30日)		当第1四半期 (自平成15年4月1日 至平成15年6月30日)		増 減 金 額 (百万円)	
	金 額 (百万円)	百分比 (%)	金 額 (百万円)	百分比 (%)		
売上高		115,187	100.0	116,649	100.0	1,461
売上原価		27,884	24.2	22,843	19.6	5,040
売上総利益		87,303	75.8	93,805	80.4	6,502
返品調整引当金繰入額		95	0.1	117	0.1	21
差引売上総利益		87,208	75.7	93,688	80.3	6,480
販売費及び一般管理費						
1 研究開発費	13,512			16,896		
2 販売費・一般管理費	54,673	68,186	59.2	57,713	74,609	6,423
営業利益		19,022	16.5	19,078	16.4	56
営業外収益		1,196	1.0	773	0.7	423
営業外費用		1,869	1.6	281	0.3	1,588
経常利益		18,348	15.9	19,571	16.8	1,222
特別利益		29	0.0	472	0.4	443
特別損失		213	0.1	642	0.6	428
税金等調整前四半期純利益		18,164	15.8	19,401	16.6	1,237
法人税、住民税及び事業税	10,550			11,514		
法人税等調整額	3,563	6,987	6.1	4,478	7,036	49
少数株主損益		2	0.0	30	0.0	32
四半期純利益		11,180	9.7	12,335	10.6	1,155

3 . 連結キャッシュ・フロー計算書

第1四半期(平成15年4月1日~平成15年6月30日)

	前第1四半期 (自平成14年4月1日 至平成14年6月30日)	当第1四半期 (自平成15年4月1日 至平成15年6月30日)	増減
区 分	金 額(百万円)	金 額(百万円)	金 額(百万円)
営業活動によるキャッシュ・フロー			
1 税金等調整前四半期純利益	18,164	19,401	
2 減価償却費	4,084	4,292	
3 連結調整勘定償却額	15	15	
4 貸倒引当金の増加額	1	28	
5 受取利息及び受取配当金	583	506	
6 支払利息	21	6	
7 持分法による投資利益	30	15	
8 固定資産売却益・処分損	33	79	
9 退職給付費用	3,005	3,960	
10 有価証券・投資有価証券売却損益	0	0	
11 有価証券・投資有価証券評価損	66	106	
12 ビタミンE訴訟関連損失	106	-	
13 売上債権の減少(増加)額	4,383	13,736	
14 たな卸資産の減少(増加)額	2,208	1,051	
15 仕入債務の減少額	381	1,583	
16 その他流動負債の増加(減少)額	1,931	3,330	
17 売上割戻引当金の減少額	2,648	2,772	
18 その他	1,460	877	
小 計	16,258	37,962	21,704
19 利息及び配当金の受取額	582	622	
20 利息の支払額	81	6	
21 ビタミンE訴訟関連損失の支払額	106	-	
22 法人税等の支払額	4,526	21,629	
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,127	16,949	4,822
投資活動によるキャッシュ・フロー			
1 有価証券の取得による支出	3,299	3,609	
2 有価証券の売却・償還による収入	6,119	8,637	
3 有形固定資産の取得による支出	6,552	4,705	
4 有形固定資産の売却による収入	26	499	
5 無形固定資産の取得による支出	429	667	
6 投資有価証券の取得による支出	4,159	4,912	
7 投資有価証券の売却・償還による収入	305	1,481	
8 3ヵ月超預金の純減少(増加)額	361	239	
9 その他	444	727	
投資活動によるキャッシュ・フロー	7,906	3,764	4,142
財務活動によるキャッシュ・フロー			
1 短期借入金の純増加(減少)額	572	190	
2 配当金の支払額	4,667	4,668	
3 その他	123	29	
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,364	4,507	856
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,772	450	5,222
現金及び現金同等物の増加(減少)額	5,915	9,128	15,044
現金及び現金同等物の期首残高	121,763	127,271	
現金及び現金同等物の期末残高	115,847	136,400	

4. セグメント情報

第1四半期（平成15年4月1日～平成15年6月30日）

1. 事業の種類別セグメント情報

（単位：百万円）

		前第1四半期 (自平成14年4月1日 至平成14年6月30日)	当第1四半期 (自平成15年4月1日 至平成15年6月30日)
医薬品分野	売上高		
	(1)外部顧客に対する売上高	108,106	111,223
	(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	50	52
	計	108,157	111,276
	営業費用	88,884	91,894
	営業利益	19,273	19,381
その他の分野	売上高		
	(1)外部顧客に対する売上高	7,081	5,425
	(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	3,273	3,243
	計	10,354	8,668
	営業費用	9,882	8,300
	営業利益	472	368
計	売上高		
	(1)外部顧客に対する売上高	115,187	116,649
	(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	3,324	3,295
	計	118,512	119,945
	営業費用	98,766	100,194
	営業利益	19,745	19,750
消去又は全社	売上高		
	(1)外部顧客に対する売上高	-	-
	(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	(3,324)	(3,295)
	計	(3,324)	(3,295)
	営業費用	(2,600)	(2,623)
	営業利益	(723)	(671)
連結	売上高		
	(1)外部顧客に対する売上高	115,187	116,649
	(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-
	計	115,187	116,649
	営業費用	96,165	97,570
	営業利益	19,022	19,078

(注) 1. 当連結グループの事業区分は医療用医薬品を中心とする「医薬品分野」と、これに属さない「その他の分野」にセグメンテーションしております。

2. 各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
医薬品分野	医療用医薬品、一般用医薬品、診断用医薬品等
その他の分野	食品添加物、化学品、機械、その他

2. 所在地別セグメント情報

(単位：百万円)

		前第1四半期 (自平成14年4月1日 至平成14年6月30日)	当第1四半期 (自平成15年4月1日 至平成15年6月30日)
日 本	売上高		
	(1)外部顧客に対する売上高	66,803	63,713
	(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	15,089	17,568
	計	81,893	81,282
	営業費用	60,939	61,181
	営業利益	20,954	20,100
北 米	売上高		
	(1)外部顧客に対する売上高	39,119	42,258
	(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	3,500	4,146
	計	42,620	46,404
	営業費用	42,118	45,109
	営業利益	502	1,294
欧 州	売上高		
	(1)外部顧客に対する売上高	6,936	8,505
	(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	598	685
	計	7,534	9,190
	営業費用	6,971	8,643
	営業利益	562	547
アジア他	売上高		
	(1)外部顧客に対する売上高	2,327	2,172
	(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	17	16
	計	2,344	2,188
	営業費用	1,719	1,737
	営業利益	625	451
計	売上高		
	(1)外部顧客に対する売上高	115,187	116,649
	(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	19,206	22,416
	計	134,394	139,066
	営業費用	111,749	116,672
	営業利益	22,644	22,393
消去又は全社	売上高		
	(1)外部顧客に対する売上高	-	-
	(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	(19,206)	(22,416)
	計	(19,206)	(22,416)
	営業費用	(15,583)	(19,101)
	営業利益	(3,622)	(3,314)
連 結	売上高		
	(1)外部顧客に対する売上高	115,187	116,649
	(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-
	計	115,187	116,649
	営業費用	96,165	97,570
	営業利益	19,022	19,078

(注) 1. 国または地域の区分は地理的近接度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国または地域

北 米：米国、カナダ

欧 州：英国、フランス、ドイツ等

アジア他：東アジア・東南アジア諸国および中南米諸国等

3. 日本におけるセグメント間の内部売上高は主として親会社からの海外子会社に対する製品売上高であります。また、北米、欧州、アジア他におけるセグメント間の内部売上高は主として海外研究開発子会社の親会社への売上高であります。

3. 海外売上高

	前第1四半期 (自平成14年4月1日 至平成14年6月30日)				当第1四半期 (自平成15年4月1日 至平成15年6月30日)			
	北米	欧州	アジア他	計	北米	欧州	アジア他	計
海外売上高(百万円)	39,688	10,253	3,051	52,994	44,481	10,309	2,937	57,728
連結売上高(百万円)				115,187				116,649
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	34.5	8.9	2.6	46.0	38.1	8.9	2.5	49.5

- (注) 1. 地域の区分は地理的近接度によっております。
 2. 各区分に属する主な国または地域
 北米：米国、カナダ
 欧州：英国、フランス、ドイツ等
 アジア他：東アジア・東南アジア諸国および中南米諸国等
 3. 海外売上高は当社および連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。



証券コード:4523

2003.6

参考資料

2004年3月期第1四半期

エーザイ株式会社

2003年7月30日

お問い合わせ先:広報部

TEL 03-3817-5120 FAX 03-3811-3077

<http://www.eisai.co.jp/ir/>

目次

	ページ
・ 連結財務ハイライト	1
・ 連結損益計算書	2
・ 連結貸借対照表	8
・ 連結キャッシュ・フロー計算書	10
・ 個別情報	11
・ 四半期業績の推移	14
・ 主要開発品	17
・ 主なニュースリリース	19

- * 当資料中の数字は、切捨表示のある場合を除き四捨五入で表示いたしました。
- * 当資料における為替レートは、下表のとおりです。

為替レート

		米国	欧州	英国
		(円/US\$)	(円/€)	(円/£)
2003年3月期第1四半期	期中平均レート	127.04	116.57	185.52
2003年3月期	期末日レート	120.20	129.83	189.45
2004年3月期第1四半期	期中平均レート	118.50	134.66	191.82
	期末日レート	119.80	136.92	198.11
2004年3月期	予測レート	115.00	120.00	190.00

四半期業績の開示については、当第1四半期より実施しており、2003年3月期の各四半期の数値は参考値です。

当資料に記載している見通し数値は、当社が現在入手可能な情報から判断したものです。経済情勢、為替相場、薬事制度などの動向により、変動する場合があります。ご了承ください。

・連結財務ハイライト

1. 損益計算書項目

(億円)

	第1四半期			通期	
	2003年 3月期	2004年 3月期	前年同期比 %	2003年 3月期	2004年 3月期(予)
売上高	1,152	1,166	101.3	4,666	5,000
売上原価	280	230	82.1	1,026	1,000
研究開発費	135	169	125.0	597	670
販売管理費	547	577	105.6	2,284	2,530
営業利益	190	191	100.3	759	800
経常利益	183	196	106.7	761	800
四半期(当期)純利益	112	123	110.3	410	480
1株当たり四半期(当期)純利益(円)	38.3	42.3	110.3	141.2	164.3

*売上原価には返品調整引当金繰入額を含んでおります。

2. 貸借対照表項目

(億円)

	2003年		
	3月末	6月末	増減額
総資産	5,917	5,940	22
株主資本	3,882	3,972	90

3. 資本的支出及び減価償却費の状況

(億円)

	第1四半期			通期	
	2003年 3月期	2004年 3月期	増減額	2003年 3月期	2004年 3月期(予)
資本的支出額	32	52	19	219	245
有形固定資産	28	45	17	174	200
無形固定資産	4	7	2	45	45
減価償却費	41	43	2	180	180

4. キャッシュ・フロー計算書項目

(億円)

	第1四半期			通期	
	2003年 3月期	2004年 3月期	増減額	2003年 3月期	2004年 3月期(予)
営業活動によるキャッシュ・フロー	121	169	48	576	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	79	38	41	277	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	54	45	9	198	-
現金及び現金同等物期末残高	1,158	1,364		1,273	-
フリー・キャッシュ・フロー	51	121	69	311	-

*フリー・キャッシュ・フロー

= (営業活動によるキャッシュ・フロー) - (資本的支出 + その他現事業維持のための支出等)

・連結損益計算書

1. 損益計算書と当四半期のポイント

(億円)

	第1四半期					
	2003年 3月期	売上比 %	2004年 3月期	売上比 %	前年同期比 %	増減額
売上高	1,152	100.0	1,166	100.0	101.3	15
売上原価	279	24.2	228	19.6	81.9	50
返品調整引当金繰入額	1	0.1	1	0.1	122.7	0
売上総利益	872	75.7	937	80.3	107.4	65
研究開発費	135	11.7	169	14.5	125.0	34
販売費・一般管理費	547	47.5	577	49.4	105.6	30
営業利益	190	16.5	191	16.4	100.3	1
営業外収益	12	1.0	8	0.7	64.6	4
営業外費用	19	1.6	3	0.3	15.0	16
経常利益	183	15.9	196	16.8	106.7	12
特別利益	0	0.0	5	0.4		4
特別損失	2	0.1	6	0.6		4
税金等調整前四半期純利益	182	15.8	194	16.6	106.8	12
法人税、住民税及び事業税	106	9.2	115	9.9	109.1	10
法人税等調整額	36	3.1	45	3.9	125.7	10
少数株主損益	0	0.0	0	0.0		0
四半期純利益	112	9.7	123	10.6	110.3	12

当四半期のポイント

売上原価
<減少要因>
・事業、品目ミックスの改善等

研究開発費
<増加要因>
・提携費用の発生

為替差損益
・前期 18億円差損
・当期 1億円差益

2. 事業の種類別セグメント情報

2-1 事業の種類別売上高

(億円)

	第1四半期			通期
	2003年 3月期	2004年 3月期	前年同期比 %	2003年 3月期
売上高	1,152	1,166	101.3	4,666
医薬品分野	1,081	1,112	102.9	4,417
(自作品比率)(%)	(85.2)	(89.3)	-	(89.3)
日本	602	591	98.0	2,280
北米	389	417	107.3	1,784
欧州	66	83	124.5	261
アジア他	23	22	93.3	91
その他の分野	71	54	76.6	249
日本	66	47	71.0	226
海外	5	8	148.7	23

*外部顧客に対する売上高であります。

*分野別の地域情報は、所在地別セグメントの区分で記載しております。

*日本以外の地域区分は、以下のとおりであります。

北米：米国、カナダ

欧州：英国、ドイツ、フランス等

アジア他：東アジア・東南アジア諸国および中南米諸国等

2-2 事業の種類別営業利益

(億円)

	第1四半期			通期
	2003年 3月期	2004年 3月期	前年同期比 %	2003年 3月期
営業利益	190	191	100.3	759
医薬品分野	193	194	100.6	777
その他の分野	5	4	78.1	7
消去又は全社	7	7		25

3. 所在地別セグメント情報

3-1 所在地別売上高

(億円)

	第1四半期			通期
	2003年 3月期	2004年 3月期	前年同期比 %	2003年 3月期
売上高	1,152	1,166	101.3	4,666
日本	668	637	95.4	2,506
北米	391	423	108.0	1,795
欧州	69	85	122.6	273
アジア他	23	22	93.3	91
海外計	484	529	109.4	2,160
海外比率(%)	42.0	45.4	-	46.3

*外部顧客に対する売上高であります。

3-2 所在地別営業利益

(億円)

	第1四半期			通期
	2003年 3月期	2004年 3月期	前年同期比 %	2003年 3月期
営業利益	190	191	100.3	759
日本	210	201	95.9	702
北米	5	13	257.5	57
欧州	6	5	97.3	24
アジア他	6	5	72.2	17
消去又は全社	36	33		41

4. 海外売上高

(億円)

	第1四半期			通期
	2003年 3月期	2004年 3月期	前年同期比 %	2003年 3月期
売上高	1,152	1,166	101.3	4,666
海外売上高	530	577	108.9	2,335
北米	397	445	112.1	1,859
欧州	103	103	100.5	360
アジア他	31	29	96.3	116
海外比率(%)	46.0	49.5	-	50.0

*外部顧客に対する売上高であります。

*分野別の地域情報は、所在地別セグメントの区分で記載しております。

*日本以外の地域区分は、以下のとおりであります。

北米：米国、カナダ

欧州：英国、ドイツ、フランス等

アジア他：東アジア・東南アジア諸国および中南米諸国等

5. グローバル品売上高（自社）

5-1 アリセプト地域別売上高

		第1四半期			通期
		2003年 3月期	2004年 3月期	前年同期比 %	2003年 3月期
日本	億円	54	70	130.2	219
北米	億円 (百万US\$)	148 (116)	191 (162)	129.5 (138.8)	745 (611)
英国	億円 (百万£)	5 (3)	3 (1)	59.5 (57.5)	9 (5)
ドイツ	億円 (百万€)	15 (13)	21 (15)	137.7 (119.2)	44 (37)
フランス	億円 (百万€)	26 (22)	34 (25)	132.0 (114.2)	113 (93)
欧州計	億円	46	58	126.4	166
アジア他	億円	7	6	88.8	23
総計	億円	254	325	128.0	1,153

*2004年3月期の売上高予測の総計は1,280億円を見込んでおります。

5-2 パリエット/アシフェックス地域別売上高

		第1四半期			通期
		2003年 3月期	2004年 3月期	前年同期比 %	2003年 3月期
日本	億円	16	17	109.6	58
北米	億円 (百万US\$)	241 (190)	226 (191)	93.7 (100.4)	1,038 (851)
英国	億円 (百万£)	13 (7)	13 (7)	99.6 (96.3)	56 (30)
ドイツ	億円 (百万€)	2 (2)	3 (2)	126.6 (109.6)	9 (7)
欧州計	億円	15	16	103.2	65
アジア他	億円	3	3	111.9	13
総計	億円	276	263	95.3	1,174

*2004年3月期の売上高予測の総計は1,490億円を見込んでおります。

参考：海外医薬品事業【個別】

Eisai Inc. (米国) / 医薬品の製造・販売

		第1四半期			通期
		2003年 3月期	2004年 3月期	前年同期比 %	2003年 3月期
売上高	億円 (百万US\$)	402 (316)	424 (358)	105.6 (113.2)	1,817 (1,490)
営業利益	億円 (百万US\$)	6 (5)	10 (8)	155.1 (166.2)	63 (52)
四半期(当期)純利益	億円 (百万US\$)	5 (4)	7 (5)	130.0 (139.3)	39 (32)
ロイヤルティ控除前営業利益	億円 (百万US\$)	48 (38)	62 (53)	129.3 (138.6)	270 (222)

衛材(中国)薬業有限公司(中国) / 医薬品の製造・販売

		第1四半期			通期
		2003年 3月期	2004年 3月期	前年同期比 %	2003年 3月期
売上高	億円 (百万元)	8 (51)	8 (52)	91.3 (101.7)	33 (221)
営業利益	億円 (百万元)	3 (20)	2 (15)	68.6 (76.5)	9 (61)
四半期(当期)純利益	億円 (百万元)	3 (20)	2 (15)	66.2 (73.7)	8 (56)

*衛材(中国)薬業有限公司の決算日は、12月31日であります。2002年1月～12月の為替レートは、期中平均レート15.14円/元であります。2003年1月～3月の期中平均レートは14.37円/元、2002年1月～3月の期中平均レートは16.01円/元であります。

Eisai Korea Inc. (韓国) / 医薬品の販売

		第1四半期			通期
		2003年 3月期	2004年 3月期	前年同期比 %	2003年 3月期
売上高	億円 (十億Won)	5 (5)	5 (5)	103.1 (105.1)	20 (20)
営業利益	億円 (十億Won)	1 (1)	1 (1)	118.5 (120.9)	2 (2)
四半期(当期)純利益	億円 (十億Won)	0 (0)	0 (0)	124.1 (126.6)	2 (2)

*2002年4月～2003年3月の為替レートは期中平均レート0.100円/Wonであります。2003年4月～6月の期中平均レートは0.099円/Won、2002年4月～6月の期中平均レートは0.101/Wonであります。

6. 販売費及び一般管理費の状況

6-1 研究開発費

(億円)

	第1四半期		通期	
	2003年 3月期	2004年 3月期	2003年 3月期	2004年 3月期(予)
売上高	1,152	1,166	4,666	5,000
研究開発費	135	169	597	670
売上高比率(%)	11.7	14.5	12.8	13.4

6-2 販売費・一般管理費

(億円)

	第1四半期		通期	
	2003年 3月期	2004年 3月期	2003年 3月期	2004年 3月期(予)
売上高	1,152	1,166	4,666	5,000
販売費・一般管理費	547	577	2,284	2,530
人件費	151	155	557	-
販売費	331	355	1,474	-
管理費他	64	68	254	-
売上高比率(%)	47.5	49.4	48.9	50.6

6-3 販売費及び一般管理費(研究開発費を含む)

(億円)

	第1四半期		通期	
	2003年 3月期	2004年 3月期	2003年 3月期	2004年 3月期(予)
売上高	1,152	1,166	4,666	5,000
販売費及び一般管理費(研究開発費を含む)	682	746	2,881	3,200
売上高比率(%)	59.2	64.0	61.8	64.0

・連結貸借対照表

貸借対照表と当四半期のポイント

<資産の部>

	2003年		構成比 %	前期末比 %	増減額 (億円)
	3月末	6月末			
流動資産	3,490	3,460	58.3	99.1	30
現金及び預金	1,013	1,140			127
受取手形及び売掛金	1,490	1,353			137
有価証券	353	277			76
たな卸資産	351	363			12
繰延税金資産	193	220			27
その他	92	109			17
貸倒引当金	2	2			0
固定資産	2,427	2,480	41.7	102.2	52
有形固定資産	1,117	1,126	18.9	100.8	9
建物及び構築物	572	566			5
機械装置及び運搬具	225	218			7
土地	191	191			0
建設仮勘定	45	69			24
その他	85	82			2
無形固定資産	160	158	2.7	98.8	2
投資その他の資産	1,150	1,195	20.1	103.9	45
投資有価証券	670	706			36
長期貸付金	1	1			0
繰延税金資産	188	201			13
その他	301	297			4
貸倒引当金	9	9			0
資産合計	5,917	5,940	100.0	100.4	22

当四半期のポイント

現金及び預金
<増加要因>
・米国における売掛金の回収増

< 負債、少数株主持分及び資本の部 >

(億円)

	2003年		構成比 %	前期末比 %	増減額
	3月末	6月末			
流動負債	1,460	1,355	22.8	92.8	105
支払手形及び買掛金	161	149			12
短期借入金	0	2			2
一年以内償還予定社債	1	1			-
未払金	411	397			14
未払費用	226	265			39
未払法人税等	230	129			101
売上割戻引当金	376	347			29
その他の引当金	8	10			2
その他	46	55			9
固定負債	481	519	8.7	107.8	37
繰延税金負債	3	5			1
退職給付引当金	454	490			36
役員退職慰労引当金	18	18			0
連結調整勘定	2	2			0
その他	4	4			0
負債合計	1,941	1,874	31.5	96.5	68
少数株主持分	93	94	1.6	100.4	0
資本金	450	450	7.6		-
資本剰余金	552	552	9.3		-
利益剰余金	3,027	3,103	52.2		76
その他有価証券評価差額金	14	23	0.4		9
為替換算調整勘定	15	10	0.2		5
自己株式	146	146	2.4		0
資本合計	3,882	3,972	66.9	102.3	90
負債、少数株主持分及び資本合計	5,917	5,940	100.0	100.4	22

当四半期のポイント

未払法人税等
< 減少要因 >
・ 確定納付による支払い

退職給付引当金
・ 数理計算上の差異償却

・連結キャッシュ・フロー計算書

	(億円)			当四半期のポイント
	第1四半期		増減額	
	2003年 3月期	2004年 3月期		
税金等調整前四半期純利益	182	194	12	
減価償却費	41	43	2	
その他の非キャッシュ損益項目	30	41	10	
営業資産・負債の増減	52	117	169	営業資産・負債の増減 <増加要因> ・米国における売上債権 の減少
その他	38	15	24	
(小計)	163	380	217	
利息等の支払および受取額	5	6	1	
ビタミンE訴訟関連損失の支払額	1	-	1	
法人税等の支払額	45	216	171	
営業活動によるキャッシュ・フロー	121	169	48	
資本的支出	70	54	16	資本的支出 ・有形固定資産取得によ る支出は47億円
その他現事業維持のための支出等	0	5	5	
有価証券の取得・売却	10	16	26	
その他	1	5	6	
投資活動によるキャッシュ・フロー	79	38	41	
配当金の支払	47	47	0	
短期資金の借入・返済	6	2	8	
その他	1	0	1	
財務活動によるキャッシュ・フロー	54	45	9	
現金及び現金同等物に係る換算差額	48	5	52	
現金及び現金同等物の増加額	59	91	150	
現金及び現金同等物期首残高	1,218	1,273		
現金及び現金同等物期末残高	1,158	1,364		

	(億円)		
	第1四半期		増減額
	2003年 3月期	2004年 3月期	
フリー・キャッシュ・フロー	51	121	69

*フリー・キャッシュ・フロー

= (営業活動によるキャッシュ・フロー) - (資本的支出 + その他現事業維持のための支出等)

・個別情報

1. 損益計算書項目

(億円)

	第1四半期			通期	
	2003年 3月期	2004年 3月期	前年同期比 %	2003年 3月期	2004年 3月期(予)
売上高	768	765	99.5	2,896	2,960
売上原価	229	208	90.6	856	800
研究開発費	129	160	124.6	576	640
販売管理費	208	206	98.9	811	890
営業利益	203	191	94.3	653	630
経常利益	191	196	102.8	648	630
四半期(当期)純利益	114	123	107.9	342	380

*売上原価には返品調整引当金繰入額を含んでおります。

2. 売上高の状況

(億円)

	第1四半期			通期	
	2003年 3月期	2004年 3月期	前年同期比 %	2003年 3月期	2004年 3月期(予)
売上高	768	765	99.5	2,896	2,960
医薬品分野	671	672	100.1	2,502	2,585
医療用医薬品(医薬品バルクを含む)	620	628	101.3	2,294	2,380
(自社品比率)(%)	(77.7)	(79.0)	-	(78.0)	-
一般用医薬品・医薬部外品等	51	43	85.4	208	205
その他の分野(食品・化学品、製薬用機械等)	39	22	56.7	119	80
工業所有権等収益	58	71	121.7	275	295

*その他の分野の動物用医薬品は2003年2月に営業権を譲渡いたしました。

3. 地域別輸出状況

(億円)

	第1四半期			通期	
	2003年 3月期	2004年 3月期	前年同期比 %	2003年 3月期	2004年 3月期(予)
売上高	768	765	99.5	2,896	2,960
輸出高	195	223	114.4	765	720
北米	139	165	118.1	549	-
欧州	45	45	101.1	175	-
アジア他	11	13	121.2	41	-
売上高比率(%)	25.4	29.2	-	26.4	24.3

*地域区分は以下のとおりであります。

北米：米国、カナダ

欧州：英国、ドイツ、フランス等

アジア他：東アジア・東南アジア諸国および中南米諸国等

4. 医療用医薬品主力製品売上高

(億円)

	第1四半期			通期	
	2003年	2004年	前年同期比 %	2003年	2004年
	3月期	3月期		3月期	3月期(予)
末梢性神経障害治療剤 メチコパール	84	83	99.8	311	320
アルツハイマー型痴呆治療剤 アリセプト	54	70	130.2	219	300
胃炎・胃潰瘍治療剤 セルベックス	72	67	93.2	268	260
骨粗鬆症治療用ビタミンK ₂ 剤 グラケー	32	28	86.9	114	110
非イオン性造影剤 イオメロン	25	26	103.0	95	90
筋緊張改善剤 ミオナール	24	23	94.9	88	90
プロトンポンプ阻害型抗潰瘍剤 パリエット	16	17	109.6	58	180
虚血性心疾患治療剤 ニトロールR	18	14	82.0	61	60
消化管検査前処置・低血糖治療剤 グルカゴンG・ノボ	12	12	99.0	44	45
アレルギー性疾患治療剤 アゼプチン	13	10	75.6	48	50
持続型マクロライド系抗生剤 ルリッド	9	8	89.4	35	30
持続性ACE阻害剤 インヒベース	9	7	79.1	31	30
医療用医薬品計	496	489	98.5	1,857	1,970

5. 医薬品バルク売上高

(億円)

	第1四半期			通期	
	2003年	2004年	前年同期比 %	2003年	2004年
	3月期	3月期		3月期	3月期(予)
パリエット/アシフェックス(輸出)	81	94	116.5	289	270
アリセプト(輸出)	44	46	104.5	148	140
医薬品バルク計	125	140	112.4	437	410

6. 一般用医薬品・医薬部外品等主力製品グループ売上高

(億円)

	第1四半期			通期	
	2003年	2004年	前年同期比 %	2003年	2004年
	3月期	3月期		3月期	3月期(予)
ビタミンB ₂ 主剤「チョコラBB」等 チョコラBBグループ	24	25	103.2	92	100
天然ビタミンE剤「ユベラックス300」等 ビタミンEグループ	6	6	90.1	32	30
緑の胃ぐすり「サクロンS」等 サクロングループ	6	5	80.2	27	20
活性型ビタミンB ₁₂ 主剤「ナボリン」等 ナボリンググループ	5	2	45.7	12	15
一般用医薬品・医薬部外品等計	51	43	85.4	208	205

7. 販売費及び一般管理費の状況

7-1 研究開発費

(億円)

	第1四半期			通期	
	2003年 3月期	2004年 3月期	前年同期比 %	2003年 3月期	2004年 3月期(予)
売上高	768	765	99.5	2,896	2,960
研究開発費	129	160	124.6	576	640
売上高比率(%)	16.7	21.0	-	19.9	21.6

7-2 販売費・一般管理費

(億円)

	第1四半期			通期	
	2003年 3月期	2004年 3月期	前年同期比 %	2003年 3月期	2004年 3月期(予)
売上高	768	765	99.5	2,896	2,960
販売費・一般管理費	208	206	98.9	811	890
人件費	96	99	103.1	376	-
販売費	69	66	95.0	268	-
管理費他	43	41	96.0	167	-
売上高比率(%)	27.1	26.9	-	28.0	30.1

7-3 販売費及び一般管理費(研究開発費を含む)

(億円)

	第1四半期			通期	
	2003年 3月期	2004年 3月期	前年同期比 %	2003年 3月期	2004年 3月期(予)
売上高	768	765	99.5	2,896	2,960
販売費及び一般管理費(研究開発費を含む)	337	366	108.7	1,387	1,530
売上高比率(%)	43.8	47.9	-	47.9	51.7

8. 資本的支出及び減価償却費の状況

(億円)

	第1四半期			通期	
	2003年 3月期	2004年 3月期	前年同期比 %	2003年 3月期	2004年 3月期(予)
資本的支出額	18	35	189.9	159	160
有形固定資産	14	29	202.9	116	125
無形固定資産	4	6	142.8	44	35
減価償却費	30	31	104.0	130	130

*減価償却費は、有形固定資産および無形固定資産を合算して表示しております。

・四半期業績の推移

1．損益計算書項目【連結】

(億円)

	2003年3月期				2004年3月期
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期
売上高	1,152	1,192	1,177	1,144	1,166
売上原価	280	249	265	233	230
研究開発費	135	144	148	171	169
販売管理費	547	586	549	602	577
営業利益	190	214	216	138	191
経常利益	183	217	217	143	196
四半期純利益	112	111	129	58	123
1株当たり四半期純利益(円)	38.3	38.1	44.6	20.1	42.3

*売上原価には返品調整引当金繰入額を含んでおります。

2．貸借対照表項目【連結】

(億円)

	2002年			2003年	
	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末
総資産	5,566	5,583	5,917	5,917	5,940
株主資本	3,698	3,769	3,882	3,882	3,972

3．資本的支出及び減価償却費の状況【連結】

	2003年3月期				2004年3月期
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期
資本的支出額	32	60	44	83	52
有形固定資産	28	46	36	64	45
無形固定資産	4	13	8	19	7
減価償却費	41	44	45	49	43

4．キャッシュ・フロー計算書項目【連結】

(億円)

	2003年3月期				2004年3月期
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	121	74	62	319	169
投資活動によるキャッシュ・フロー	79	101	29	68	38
財務活動によるキャッシュ・フロー	54	93	43	9	45
現金及び現金同等物期末残高	1,158	1,046	1,032	1,273	1,364
フリー・キャッシュ・フロー	51	2	18	240	121

*フリー・キャッシュ・フロー

= (営業活動によるキャッシュ・フロー) - (資本的支出 + その他現事業維持のための支出等)

5. アリセプト地域別売上高（自社）【連結】

		2003年3月期				2004年3月期
		第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期
日本	億円	54	55	61	48	70
北米	億円 (百万US\$)	148 (116)	187 (155)	212 (173)	199 (166)	191 (162)
欧州計	億円	46	40	41	39	58
アジア他	億円	7	6	4	6	6
総計	億円	254	288	319	292	325

6. パリエット/アシフェックス地域別売上高（自社）【連結】

		2003年3月期				2004年3月期
		第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期
日本	億円	16	14	16	12	17
北米	億円 (百万US\$)	241 (190)	267 (223)	203 (166)	327 (272)	226 (191)
欧州計	億円	15	12	22	16	16
アジア他	億円	3	3	4	3	3
総計	億円	276	297	244	358	263

7. 医薬品バルク売上高【個別】

(億円)

	2003年3月期				2004年3月期
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期
パリエット/アシフェックス（輸出）	81	79	76	53	94
アリセプト（輸出）	44	31	36	37	46
医薬品バルク計	125	111	111	91	140

8. 損益計算書項目【個別】

(億円)

	2003年3月期				2004年3月期
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期
売上高	768	734	777	617	765
営業利益	203	172	206	72	191
経常利益	191	176	206	76	196
四半期純利益	114	84	124	21	123
期末自己株式数(千株)	4,762	7,771	7,822	4,776	4,778

*期末自己株式数は千株未満を切捨て表示しております。

9. 医療用医薬品主力製品売上高【個別】

(億円)

	2003年3月期				2004年3月期
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期
メチコパール	84	81	81	65	83
アリセプト	54	55	61	48	70
セルベックス	72	67	72	57	67
グラケー	32	29	30	23	28
イオメロン	25	25	26	19	26
ミオナール	24	23	23	18	23
パリエット	16	15	16	12	17
ニトロールR	18	15	16	12	14
グルカゴンG・ノボ	12	11	12	8	12
アゼプチン	13	9	10	16	10
ルリッド	9	7	10	8	8
インヒベース	9	8	8	6	7
医療用医薬品計	496	464	494	403	489

10. 一般用医薬品・医薬部外品等主力製品グループ売上高【個別】

(億円)

	2003年3月期				2004年3月期
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期
チョコラBBグループ	24	26	23	18	25
ビタミンEグループ	6	10	9	6	6
サクロングループ	6	7	8	5	5
ナボリンググループ	5	2	3	3	2
一般用医薬品・医薬部外品等計	51	57	57	43	43

・主要開発品

* 2003年3月期決算発表時からの変更点

1. 国内バリエットの逆流性食道炎維持療法の効能追加承認を取得
2. 国内クリアクターの肺塞栓の効能追加を申請
3. 国内アリセプトの口腔内崩壊錠の剤形追加を申請
4. アリセプトの脳血管性痴呆、米国FDAより今回の申請について承認しない旨の通知を受領

1. 海外開発品状況

1-1 申請中開発品

製品名 (開発品コード)	地域	申請時期	薬効/作用または分類	剤形	オリジン
アリセプト (E2020) (効能追加)	米国 欧州	2002年 9月 2002年10月	脳血管性痴呆の効能追加 本剤は、脳血管性痴呆の効能追加を申請中です。 米国については、2003年7月3日にFDAより承認しない旨の通知を受領 しましたが、今後も承認取得に向け、FDAとの話し合いを継続していきます。	錠剤	自社

1-2 臨床試験中開発品 フェーズ

製品名 (開発品コード)	地域	申請予定時期	薬効/作用または分類	剤形	オリジン
アリセプト (E2020) (効能追加)	米国	2005年	重度アルツハイマー型痴呆の効能追加 本剤はすでに軽度および中等度のアルツハイマー型痴呆治療剤として承認 を取得していますが、重度アルツハイマー型痴呆の効能追加のフェーズ 試験進行中です。	錠剤	自社
アリセプト (E2020) (効能追加)	欧州	2005年	パーキンソン病に伴う痴呆の効能追加 本剤はすでに軽度および中等度のアルツハイマー型痴呆治療剤として承認 を取得していますが、パーキンソン病に伴う痴呆の効能追加のフェーズ 試験進行中です。	錠剤	自社

1-3 臨床試験中開発品 フェーズ

製品名 (開発品コード)	地域	薬効/作用または分類	剤形	オリジン
E5564	米国	敗血症治療剤 / エンドトキシン拮抗剤 本剤はエンドトキシン受容体拮抗作用により、種々のグラム陰性菌からの エンドトキシンに対して有効性を示します。有効な敗血症治療剤として期 待されています。	注射	自社
E5564	米国	冠動脈バイパス形成術後の予後改善 / エンドトキシン拮抗剤 本剤はエンドトキシン受容体拮抗作用による敗血症治療剤としての開発と あわせ、冠動脈バイパス形成術後の予後改善のためのフェーズ 試験進行 中です。	注射	自社
E7070	米国 欧州	抗がん剤 / 細胞周期G1期阻害剤 本剤は細胞周期のG1フェーズを阻害することにより、アポトーシス(自己 細胞死)を誘導します。新規メカニズムの抗がん剤として期待されています。	注射	自社
アリセプト (E2020) (効能追加)	米国 欧州	片頭痛予防の効能追加 本剤はすでに軽度および中等度のアルツハイマー型痴呆治療剤として承認 を取得していますが、片頭痛予防の効能追加のフェーズ 試験進行中です。	錠剤	自社
E2007	欧州	多発性硬化症・てんかん・パーキンソン病治療剤 / AMPAレセプター拮抗剤 本剤はグルタミン酸受容体のサブタイプであるAMPAレセプターに選択的に 拮抗し、神経細胞死を抑制することにより多発性硬化症、てんかん、パーキン ソン病に効果が期待されています。	錠剤	自社

2. 国内開発品状況

2-1 承認取得品

製品名 (開発品コード)	承認時期	薬効/作用または分類	剤形	オリジン
パリエット (E3810) (効能追加)	2003年7月	逆流性食道炎維持療法の効能追加 本剤はすでに抗潰瘍剤として承認を取得していますが、「逆流性食道炎に関する用法用量の一部変更」の承認を取得しました。	錠剤	自社

2-2 申請中開発品

製品名 (開発品コード)	申請時期	薬効/作用または分類	剤形	オリジン
ミオナール (E2000) (剤形追加)	1997年3月	筋緊張改善剤 本剤は皮膚に貼付することにより経皮吸収され、中枢神経系に作用して骨格筋の緊張を緩和することで、こりと痛みの悪循環を断ち、種々の筋緊張症候を改善することが期待されています。	テープ剤	自社
アリセプト (E2020) (剤形追加)	2003年3月	口腔内崩壊錠の剤形追加 本剤は国内ですでに錠剤および細粒剤の剤形で承認を取得していますが、嚥下困難な患者様を考慮し、口腔内崩壊錠の剤形追加を申請中です。	口腔内崩壊錠	自社
クリアクター (E6010) (効能追加)	2003年5月	肺塞栓の効能追加 本剤はt-PAの構造を遺伝子操作技術を用いて変換した第二世代t-PAです。オーファンドラッグに指定され、肺塞栓の適応をもつ初めてのt-PA製剤として期待されています。	注射	自社

2-3 臨床試験中開発品 フェーズ

製品名 (開発品コード)	申請予定時期	薬効/作用または分類	剤形	オリジン
T-614	2003年 【申請準備中】	抗リウマチ剤 本剤は炎症性のサイトカインの産生、リンパ球増殖及び免疫グロブリン産生を抑制します。慢性関節リウマチに対する改善作用が期待されています。	錠剤	富山化学
パリエット (E3810) (効能追加)	2005年	H.ピロリ除菌の効能追加 (抗生剤との併用療法) 本剤はすでに抗潰瘍剤として承認を取得していますが、H.ピロリ除菌の効能追加のフェーズ が進行中です。	錠剤	自社

2-4 臨床試験中開発品 フェーズ

製品名 (開発品コード)	薬効/作用または分類	剤形	オリジン
E3620	消化管機能改善剤/5-HT ₃ 受容体アンタゴニスト、5-HT ₄ 受容体アゴニスト 本剤はセロトニンのタイプ3受容体阻害作用とタイプ4受容体刺激作用を併せ持つ消化管運動機能改善剤であり、慢性胃炎にみられる腹部膨満感、食欲不振などの症状、過敏性腸症候群などでみられる便通異常や腹部痛に対する改善効果が期待されています。	錠剤	自社
KES524	肥満症治療剤/脳内セロトニンとノルアドレナリンの再取り込み阻害 本剤は脳内の神経伝達物質であるセロトニンとノルアドレナリンの再取り込み阻害に基づく中枢作用による満腹感の亢進と、体内のエネルギー消費の亢進により、体重の減少効果が期待されています。	カプセル剤	アボット
クリアクター (E6010) (効能追加)	脳塞栓の効能追加 本剤はt-PAの構造を遺伝子操作技術を用いて変換した第二世代t-PAです。脳塞栓の適応をもつ初めてのt-PA製剤として開発しています。	注射	自社
タンボコール (E0735) (効能追加)	発作性心房細動・粗動の効能追加 本剤は頻脈性不整脈治療剤として承認を取得していますが、発作性心房細動・粗動の効能追加のフェーズ 試験進行中です。	錠剤	3M
アリセプト (E2020) (効能追加)	重度アルツハイマー型痴呆の効能追加 本剤はすでに軽度および中等度のアルツハイマー型痴呆治療剤として承認を取得していますが、重度アルツハイマー型痴呆の効能追加のフェーズ 試験進行中です。	錠剤	自社

・ 主なニュースリリース

日付	概要
2003年 7月30日	片頭痛治療剤「マクサルト」の販売提携の一部変更について
2003年 7月30日	食品・化学事業部の分社化について
2003年 7月18日	「パリエット錠10mg」、逆流性食道炎維持療法の追加承認取得
2003年 7月 4日	「アリセプト」、米国において脳血管性痴呆の適応を承認しない旨の通知を受領
2003年 7月 1日	ストックオプション（新株予約権）の払込価額等決定に関するお知らせ
2003年 6月24日	ストックオプション（新株予約権）の割当に関するお知らせ
2003年 6月23日	活性型ビタミンB ₂ 主剤「チョコラBBプラス」新発売
2003年 5月26日	血栓溶解剤「クリアクター」、急性肺塞栓症の効能・効果追加を申請
2003年 5月15日	テバ社とエーザイ、ラサジリンのアルツハイマー病に対する共同開発と、米国市場におけるパーキンソン病についてコ・プロモーション契約を締結
2003年 5月13日	ストックオプション（新株予約権）に関するお知らせ
2003年 5月13日	自己株式の取得に関するお知らせ
2003年 4月 3日	ビタミンC主薬製剤、天然型E、B ₂ 配合「チョコラCCホワイト」新発売

平成16年3月期第1四半期連結パフォーマンスレポート

当社の第1四半期連結売上高は、前年同期比1.3%増の1166億円、四半期純利益は同10.3%増の123億円、1株当たり利益（EPS）も同10.3%増の42.28円という堅調な滑り出しとなりました。

[平成16年3月期第1四半期連結業績のポイント]

1. 欧米の売上高は順調に推移しており、海外子会社での売上高は前年同期に対して46億円増額となりました。為替による減収分は、22億円となりましたが、それを吸収して増収となりました。
海外での所在地別売上高比率は42.0%から45.4%に拡大し、医薬品分野の売上高比率も93.9%から95.3%となり、目標とするグローバル化の推進とコアビジネスへの集中度は進展しました。
2. 製品別売上高では、アリセプトが前年同期より28.0%増となる325億円となり、パリエット/アシフェックスでは4.7%減少の263億円となりました。米国のアシフェックスは、前年第4四半期の価格改定前需要増の影響により微増（現地通貨ベース）にとどまり、邦貨換算では減少しました。2品の全社売上高に占める割合は50.4%と50%を超えました。
3. 売上原価率が低減（前年同期から4.6ポイント改善）しました。これは、アリセプト、パリエット/アシフェックスの量的拡大に伴うプロダクトミックスの好転に加え、事業ミックスの変化が主な理由です。
4. 研究開発費は前年同期比25.0%増の169億円となりました。臨床研究の進展や神経領域におけるライセンス費用などの増加によるものです。

5. 販売費・一般管理費は、米国でのMR増強や売上上昇に伴う販売諸費用の増加などにより5.6%増となりました。
6. 以上のことから営業利益は微増となりましたが、当期純利益は、前年同期の為替差損の影響もあり、前年同期比で10.3%の上昇となりました。
7. 1株当たり利益(EPS)は42.28円となり、前年同期に対し3.95円の増加で10.3%の上昇となりました。

当四半期ならびに本日までの、業績、研究開発、プロモーション活動に関する主な事項は次の通りです。

1. 日米ともに市場の伸びを上回る成長

2大市場である日米における当社の医療用医薬品は、ともに市場の伸びを上回る成長を果たすことができました。日本における当社の共同販促を含む医療用医薬品は、IMSベースで前年比104%と市場の伸びを1ポイント上回ることができました。米国では6月の市場成長率が未確定のため3-5月の比較となりますが、当社はIMSベースで117%と市場の伸びを6ポイント上回りました。

2. グローバル2品の成長

アリセプトは、前年同期からの増加額が米国で44億円、日本で16億円、欧州で12億円と順調に成長し、グローバル合計で71億円増となり、前年同期比は128%となりました。

パリエット/アシフェックスは、為替による減収分もあり円ベースでは前年同期比で減少となりましたが、米国の現地通貨ベースでは前年同期を確保しています。

1-6月でみた米国のアシフェックスの成長率は前年同期比115%と伸長しており、今期微増に留まったのは、2002年度第4四半期の価格改定前の需要増による影響であり、今後は再び上昇に転じる予定です。

グローバル2品の全社売上高に占める割合は前年同期の46.0%から50.4%と拡大し、50%を突破しました。

3. 米国の収益性の向上

米国版社であるエーザイ・インクの収益性が改善しました。ロイヤルティ控除前営業利益の額は前年同期比139%の伸びを示し、率でも前年の12.0%から14.7%へと2.7ポイント上昇しました。

4．米国のMR増強

第1四半期にエーザイ・インクは150名のMRを増強し、MR400名体制を確立しました。研修期間が明けた6月から第一線活動を開始しました。売上上昇への本格的貢献は第2四半期以降になりますが、すでに5月のアシフェックスのSOV（シェア・オブ・ボイス）はパートナー分も含め約20%へ上昇しました。アリセプトにおいても、MRの増強に加え、今後DTC（Direct to Consumer）キャンペーンを実施し、アルツハイマー型痴呆の認知度向上をはかり、処方の方の更なる拡大をめざす予定です。

5．テバ社との提携

当社は、5月15日にイスラエルのテバ社と、ラサジリンのアルツハイマー病に対する共同開発と米国におけるパーキンソン病領域についてコ・プロモーション契約を締結しました。

神経フランチャイズであるパーキンソン病への取り組みとして、2003年後半、FDAに承認申請をする予定です。米国で承認取得後にはコ・プロモーションを行います。

また、アリセプトとは異なるMAO-B阻害という特性を生かして、アルツハイマー領域での可能性を共同研究することになりました。これにより、アルツハイマー型痴呆治療剤のカバレッジを広げて、より多くの患者様のベネフィット向上に貢献したいと考えています。

[後発事象について]

6．国内におけるパリエットの用法用量追加承認

パリエットは、7月17日に日本で逆流性食道炎維持療法の承認を取得しました。これにより、8週間を超える投与が可能になりました。パリエットは、同じ用量で治療と維持療法ができるため、維持療法に移る際の用量変更の必要がなく、患者様の服薬性に優れています。

今回の追加承認取得により、予定どおり2003年度の国内販売目標である180億円の達成をめざします。

7．アリセプトの「脳血管性痴呆」適応拡大

米国食品医薬品局（FDA）に申請していた脳血管性痴呆の適応追加について、米国時間7月3日、FDAより承認しない旨の通知を受領しました。当社は、今回提示された当局の考え方を十分に考慮して、今後の対応について協議していきます。

米国では、2002年度における軽度～中等度のアルツハイマー病患者は約340

万人と推計されますが、そのうち薬剤投与を受けているのは160万人で、47%になります。エーザイ・インクは、MR増員によるSOVの拡大、DTCキャンペーンの実施および速崩錠の投入などにより、アルツハイマー型痴呆の認知度向上をはかり、当初予定していた850百万ドルの目標を達成します。

8. マクサルト販売提携の一部変更

本年2月26日付けで発表した杏林製薬(株)との片頭痛治療剤マクサルト(一般名:安息香酸リザトリプタン)の販売提携に関する契約の一部を変更することで合意し、本日改めて契約を締結しました。変更点は「両社によるコ・プロモーション」から「エーザイの単独プロモーション」とするものです。7月に輸入承認され、上期中の上市を予定しています。これにより、エーザイは神経領域のプレゼンスをさらに高めることができると確信しています。

[研究開発の進展について]

第1四半期から本日までの研究開発の進展に関するトピックは次のとおりです。

「第1四半期の主要成果」

- ・ 第2世代のt-PA (tissue plasminogen activator)として急性心筋梗塞時の冠動脈血栓の溶解に使用されている「クリアクター」は、5月に急性肺塞栓の効能追加申請を行いました。新効能はオーファンドラッグの指定を受けていますので、迅速な審査が期待されます。
- ・ 急性冠症候群をターゲットに開発されたE5555は、経口のトロンビン受容体拮抗剤です。5月に米国でフェーズを開始しました。
- ・ 神経選択的ナトリウムチャンネルブロッカーのE2070は、7月にフェーズを開始しました。神経性疼痛などを対象として開発する予定です。

「アリセプトの進展」

- ・ アリセプトはアルツハイマー型痴呆のゴールドスタンダード薬の地位を確立しており、その作用機序を通じて様々な可能性を追求しています。

- ・ なかでも脳血管性痴呆はアリセプトの効果が期待される領域です。米国での状況については既に述べましたが、欧州でも昨年10月に英国を相互認証制度の審査基準国として申請しており、現在審査の最終段階にあります。
- ・ アリセプトは、パーキンソン病に伴う痴呆や、片頭痛の予防、重度アルツハイマーなどでの臨床研究も進めています。

「パリエットの進展」

- ・ パリエットは、日本でも抗菌剤との併用によるピロリ菌の除菌療法のフェーズを行っており、既に承認を取得している欧米に続いて日本でも承認取得することで、酸関連疾患のトータル治療剤としての完成度を高めます。

「主要テーマの進展と新規化合物」

- ・ 敗血症治療剤として開発中のエンドトキシン拮抗剤 E5564 はフェーズ Ⅲ の中間段階に来ております。冠動脈バイパス形成術後のエンドトキシンショック予防については、既にフェーズ Ⅲ 実施中の米国に加えて欧州でも臨床を開始する予定です。
- ・ 多発性硬化症治療薬として開発を進めている E2007 はフェーズ Ⅱ ステージにありますが、パーキンソン病やてんかんへも対象を広げ臨床試験を進めています。これまでは欧州を中心に臨床を進めてきましたが、米国でも第2四半期中にも IND を申請し臨床を開始する予定です。
- ・ 重点領域の一つである「がん」領域では、フェーズ Ⅱ 段階にある E7070 が様々な固形がんでの検討を続けていますが、とくに乳癌については単剤での早期承認取得に向けて開発を加速します。もう一つの臨床品目である E7389 は米国国立がん研究所(NCI)の手でフェーズ Ⅲ が行われていますが、当社も独自に臨床研究を始める予定です。
- ・ がん領域の新しい化合物として、経口で VEGF 受容体チロシンキナーゼ阻害作用による血管新生抑制作用をもつ E7080 の前臨床データを7月のアメリカがん学会(AACR)で発表しました。同学会では E7070 および E7389 の前臨床データや、新規抗がん活性天然物プラジエノライドについてのデータも発表しました。

「国内テーマの進展」

- ・ 富山化学との共同開発による「ケアラム」(T-614)とアボット社との共同開発

によるアダリムマブ（D2E7）の2つのリウマチ治療剤の臨床試験を進めています。「ケアラム」は第2四半期中に申請する予定です。

[2003年度業績見通し]

本年5月に発表した2003年度中間および通期の見通しに変更はありません。2003年度の売上高は334億円増の5000億円、前年比は107%を見込んでおります。

最も大きな市場である米国では、現地通貨ベースで1710百万ドル、前年比115%です。また、欧州、アジアも2桁上昇を目指しています。

日本市場においては、パリエットが180億円と大幅な伸長を見込み、売上高は1970億円、前年比106%と市場を上回る成長を計画しています。

営業利益面では、米国のエーザイ・インクが連結業績を牽引する見通しです。米国のロイヤルティ控除前営業利益見通しは265百万ドル、前年比120%を見込んでいます。

本年6月に開催した株主総会で、コーポレートガバナンスを一層推進するために、最高経営責任者（CEO）である社長と取締役会議長を分離することにしました。これにより、業務執行機能ならびに取締役会の監督機能を強化し、コーポレートガバナンス体制をさらに充実させていく所存です。

当社は、「世界における患者様貢献と法と倫理の遵守」をビジョンとして掲げ、これを実現するために、研究開発、製造、マーケティングなどを行うビジョン主導オペレーションを目指しております。

（以 上）